



令和7年度柏第一小学校 学校経営 基本方針

【学校教育目標】

かしわ一小けんめい！ ～よく笑い よく遊び よく学ぶ～

【目指す児童像】

自他を認める子

- ・挑戦する力
- ・明るい挨拶
- ・最後までやり通す力
- ・思いやる力
- ・しなやかな力

自ら学びとる子

- ・主体的に学ぶ力
- ・共感する力
- ・活用する力
- ・表現する力
- ・根気強くやりぬく力

強くたくましい子

- ・失敗してもくじけない力
- ・健康、安全に気をつける力
- ・自ら楽しく運動する力

【目指す学校像】

「みんな笑顔でいられる学校」

- ・わくわく登校し、満足して下校する学校
- ・安心して生活できる学校
- ・失敗を恐れず思いっきり挑戦できる学校
- ・互いに認め合える学校
- ・進んで挨拶する学校

【目指す職員像】

「子供たちと楽しめる職員」

- ・子供一人一人を大切にする職員
- ・子供と共に遊び、子供と活動する職員
- ・子供の相談を共感的に受け入れる職員
- ・子供の成長にわくわくできる職員
- ・保護者や地域との連携がとれる職員

○経営方針

学校教育目標達成に向けて、**全職員・全児童・全保護者・全地域の方々が、一緒になって取り組む。**（不易と流行、前年度踏襲と新たな取り組みのバランス）

- ・学校教育目標を職員及び児童や保護者，地域の方々にも理解していただき、何事にも一生懸命に取り組める児童を育てる。
- ・**校内研修では、義務教育学校開設に向けた3校合同での取り組みを進めるとともに、継続して**教師主体の授業から、児童主体の学習へとさらなる転換を図る。また、**学習への興味関心・意欲を育むため、ループリック評価を活用した、「見通した授業」「わかる授業」「児童が生き生きと活動する授業」の推進に引き続き努める。**
- ・児童の指導上の問題や学校の課題については、全職員で共通理解するように努め、解決に向けて協働体制を構築する。**職員会議等での情報共有だけでなく、日頃から「ワイガヤの職員室」を意識し、こまめな児童理解の機会を大切にする。学級担任から学校担任への意識改革を！**
進化し続ける生徒指導体制の構築
- ・**支援級在籍児童の交流及び共同学習については、教職員間の連携強化が大切生徒指導と同じように学校担任の意識で当該児童への指導にあたる。**
- ・相談体制を整備し、児童の困り感や保護者の思いをいち早く察知し、児童理解に努め、「ほめる」「認める」を核とした積極的な生徒指導を行う。
- ・学校運営協議会及び地域学校協働活動の充実を図り、保護者や地域の皆さんと学校との関係をより身近なものになるように努める。
- ・**令和12年度義務教育学校開校に向け、旭東小と柏中との一層の協力・連携を図る。**

○令和7年度 柏第一小学校 学校経営方針に係わる重点

- 1 安全・安心な環境作り
- 2 学力差への対応
- 3 心の教育・**居場所づくり**
- 4 健康教育の充実
- 5 職員の資質・指導力の向上

保護者や地域に信頼される学校づくり

1 安全・安心な環境作り

◎児童自身の安全に対する意識の醸成

○校庭、遊具の安全点検

○定期的な登校指導

○交通安全教室、防犯教室の実施

○教職員の不審者対応研修

○職員の定期的な敷地内パトロール

○通学路の安全の見守り（PTA 連携）

◎保護者や**地域**との密な連携

・情報共有と相談

・**地域学校協働活動の活用**

2 学力差への対応

◎学習者主体の授業の充実（**校内研の充実**）

◎アウトプット型の授業展開

インプット→アウトプット→インプット
の強化・深化

○**児童が先を見通した授業づくり**

○習熟度別学習（少人数加配の活用）

○ステップアップ教室の活用（3年生）

○オンラインドリルの活用（個別学習の充実）

○体験的な学習の充実

・外部人材の活用、外部施設の活用

◎**専科教員の配置**

○図書館の活用（読書の奨励）

3 心の教育・居場所づくり

◎個に応じた指導・支援

- ・自己決定できる場の設定
- ・肯定的な声かけ・支援
- ・早期発見・早期対応
- ・情報の共有化（報告・連絡・相談）

○道徳の交換授業(学年内)

- ・様々な見方
- ・児童の相談窓口

○いじめ防止アンケートの拡大と活用

○特別支援員・低学年支援員等との情報共有・活用

○なかよしグループ等の集団活動の充実

○自己有用感を高める

- ・児童とのコミュニケーションをとる
- ・活躍の場、協力の場、児童同士認め合う場を設定する
- ・児童の頑張りを認め、称賛する

◎相談窓口の拡充

- ・電話相談
- ・希望性の個人面談
- ・個人面談

4 健康教育の充実

たくましい身体づくり

◎教科体育の充実

- ・十分な運動量の確保
- ・基礎体力、基礎技能の向上
- ・励ましの声掛けを意識させる

○座学、パソコン使用時の姿勢の確認

○食物アレルギーや健康面で支援を必要児童の情報共有

○複数での遊びの奨励

○休み時間の外遊びの奨励

○外部委託による水泳指導

5 職員の資質・指導力の向上

○一人一台端末の効果的な活用 (校内研修)

○経験則、指導方法等の伝達

○自己研修の充実

○特別支援教育の理解を深める

◎学年担任、学校担任の意識

◎「気がつく」資質の醸成

◎カウンセリングマインドの習得・向上

◎「ほめる」「認める」意識

○自分事と捉える不祥事根絶研修の充実

1～5を通して

☆保護者や地域に信頼される学校づくり

○学校運営協議会の充実

◎地域学校協働活動の推進

◎学校ホームページの活用

◎保護者アンケートの実施

○保護者・地域との連携

- ・一人一台端末の家庭でのルール
- ・挨拶の奨励
- ・登下校の見守り
- ・情報提供・共有